

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開催日時	令和元年7月25日(木) 開会：午前10時30分・閉会：午前11時52分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者(委員)氏名	山崎孝子委員(座長)、吉田知弘委員、吉澤篤人委員(代理人出席) 根岸桃子委員、西田信子委員、染谷京子委員、竹井里美委員、永島志津江委員、中村洋子委員、加藤美幸委員、鹿山由美子委員、高橋陽子委員(代理人出席)、吉田秀和委員、内沼真由美委員、小山惣子委員、春田昇委員(名簿順、敬称略)	
欠席者(委員)氏名	岡田恵美委員、為貝正博委員、久保正子委員、坂詰恭子委員、田代美江子委員、井上文子委員	
事務局	堀口修司(所長)、蓮沼佳代(主任)	
会議内容	(1) 行田市女性活躍推進事業行動計画(案)について (2) 令和元年度女性活躍推進事業計画(案)について (3) その他	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・行田市女性活躍推進ネットワーク会議設置要綱 ・委員名簿 ・資料1 行田市女性活躍推進事業行動計画(案) ・資料2 女性活躍推進ネットワークイメージ図 ・資料3 令和元年度女性活躍推進事業計画(案) ・行田市女性活躍推進事業 3講座チラシ ・「彩カフェ inSAITAMA」、「女性管理職等向け研修会」、「テレワーク・デイズ2019」チラシ 	
その他必要事項	傍聴者なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	令和元年 月 日	⑩

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・開会。 委員の自己紹介。 配布資料の確認。 ・本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただきます。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただきます。 本日の傍聴希望者はいない。 ・座長の選出（山崎孝子委員）。 議長の選出（座長）。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。議事が円滑に進むよう、皆様の御協力をお願いする。議事の前に、第4条第5項に基づき、座長に事故があるとき又は座長が欠けたときの職務代理者の指名をさせていただく。 中村委員を指名させていただく。 それでは、女性活躍推進ネットワーク会議の議事の（1）行田市女性活躍事業行動計画（案）について事務局に説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明があったが、意見や質問等あるか。 資料2ページに5つのセミナーの計画案がある。具体的な方向性など委員の皆さまから積極的なご意見をいただきたいが、いかがか。
西田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ聞くだけでなく、実際に体験して学ぶような内容になっているので、企画どおりに実施するのであれば良いと思った。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことを自分の中だけで終わらせるのではなく、それらに参加

吉田委員	<p>した皆と発展させていくというのは、今後求められることだと思う。やはり多くの方に参加していただき、それを学んで実践していただくことが一番大事だと思う。</p> <p>今回初めて終活セミナーを取り上げるようだが、自分のためだけでなく、自分の親のことだと思って若い方たちも参加して勉強すると、今後の人生に深みが出てくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終活セミナーは、年代で内容が変わってくると思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・若い方や高齢者など参加者の年代が様々な場合、講師がどのように考えて講義するのかと思う。まだ具体的には決まっていないが、年代ごとにグループ分けして、それぞれの年代の意見を発表するグループワークも良いと思う。
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな年代の方たちが参加し、その中でグループ分けするのは非常に難しいと思う。「何十代向けのセミナー」としてしまふ方が、内容が具体的になると思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他に意見等はあるか。 <p>男性料理講座はとても好評で、男性も家事能力をアップさせるために魚の捌き方といった男性ならではの内容にしている。このようなところにも気を使って、すごく努力していると思う。</p> <p>他に意見や質問が無いようであれば、議事（２）令和元年度女性活躍推進事業計画（案）について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明。
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にとっても参加してみたいと思うような内容になっている。 <p>ここ数年、女性部では防災について取り組んでいる。昨年度もVIVA が開催したトイレ研究所の講演会に参加したり、女性部で</p>

は商工センターで身近にある物を利用して仮設トイレを作るというワークショップを行った。その時に、次回は避難所をということで HUG が話題に上がった。避難所ではリーダーを決めてしまうと頼りきってしまい、リーダーが欠けると皆が何もできずに困ってしまうため、皆が関わって考えるようにリーダーを決めないほうが良いという意見があった。

例えば、避難所ではトイレが大事なんだということを皆が意識していれば、搬入されたトイレの配置場所も皆が意見を出し合い、皆で考えて決められる。そのような意識を持ってもらうためにも、今回の防災セミナーはカードゲームで楽しみながら皆で考えることができるので、とても良いと思った。やはり、自分でやってみると本当に身に付くと思うし、そういったことをやる方たちがすごく増えると、一人ひとりに意識が行き渡ってとても良いと思う。女性部でも参加するよう呼びかけてみたいと思う。

また、終活セミナーだが、吉田委員のご意見のとおり年代をどのように分けるのだろうと思った。自分の終活を考える年代の人と親の終活を考える若い人でグループ分けし、両者の考えや気持ちを知れると良いと思う。先日、「あなたの人生片付けます」という本を読んで面白かったので、自分も今からあまり余計な物を残さないように少しずつ断捨離して片付けるようにしている。

最後にフラワーアレンジメント講座だが、地元の女性部で毎年文化祭前に寄せ植えの講座をやっているが、とても人気がある。過去に一度やらなかった時に要望があったため、それ以降毎年寄せ植え講座をやっている。作るものの大きさにもよるが、重量があるので男性向きだと思う。

西田委員

・フラワーアレンジメント講座だが、男性は食虫植物やサボテン、多肉植物などグリーン系を好むと思うので、そういうものを企画しても面白いと思う。また、時期的に門松も良いと思う。

防災についてだが、先日の九州の水害で実際にレベル4だったのに避難所では寝れないという理由で避難しない人が半分くらい

	<p>いたらしい。避難所生活が長く続くと思うと、レベル4でも避難しないという現実には驚いた。実際に海外で同じ状況の場合どうするのかということを見てみたが、避難しないのは日本だけだった。例えば、イタリアでは一度皆が避難して集まるが、その後は個人で一つ一つテント住居として確保し、惨めな思いをしないようにしていた。やはり災害にあった時は、とても傷ついたり残って引きずったりするので、そのようなことは市がやる以上にもっと大きなことだと思う。避難生活は一時的なことだが、それが長く続くと実際レベル4でも皆が避難せずに家にいたいと思っているということを受け止め、やはり避難所が大事ということに繋がれば良いと思う。</p> <p>最後に、セミナーの内容が良く、魅力的で本当に明確になってきたと思う。参加してその価値を受けてもらうのが着地点になると思うので、選ばれた人しか参加出来ないような人数なのに定員を満たせない場合があるとすれば、やはり周知してもらうことが必要だと思う。例えば、パソコン講座もハローワークでチラシを配布してもらうなど周知について協力を依頼したり、また、すぐに定員に達する講座もあるので、達しない場合は何が問題なのかを考える余地があると感じた。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災セミナーや終活セミナーは人数が30名だが、もっと多く募集人数を増やして周知できると良いと思う。多くの方に対して周知する内容なので、50人位で開催して将来に役立ててもらえたら講座を開催した意味があると思う。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど西田委員からパソコン講座の周知についてご指摘いただいたが、ハローワークでは雇用保険の説明会を毎週火曜日に行っている。毎回60名が参加しており、明日が3回目で180名に講座の内容を説明しながらチラシを配布しているという状況である。しかし、雇用保険受給者の約4割が60歳以上のため、熊谷のハローワークのマザーズコーナーで周知させていただこうと思っ

<p>座長</p>	<p>ている。講師であるリング学院の澁澤先生は、ハローワークでも馴染みであり、同様に周知していただけたらと思う。</p> <p>また、ハローワークで開催される就職支援セミナーについては、ハローワークで作成したスケジュール表を窓口や説明会で配布し、8月15日から申し込み開始のため、来週からホームページに掲載する予定で準備しているところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このパソコン講座のチラシは、行ってみたいと思えるような本当に分かりやすく素晴らしいチラシである。両面でチラシを作成するのは大変なので、多くの方に見ていただき、是非参加して欲しいと思う。 <p>また、就職支援セミナーのチラシもじっくり詠むとやってみたいと意欲が湧いた。</p>
<p>根岸委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は採用担当をしているが、パソコン講座の内容は採用後に就職して何の役に立つのかと思った。履歴書をパソコンで作成することが、実際に働いて活かされるのかと思う。知識のない方が受ける講座のように思えるが、就職してからパソコンが活かせる仕事はできないと感じてしまう。履歴書作成であれば「結果的にワードを使える第一歩になる」や二日間かけてエクセルでジョブカード作成するのであれば「表やグラフ作成ができるようになる」といったように、ワードやエクセル、インターネットのどのような部分をどのように勉強するのかという説明がないと、ただ就職試験を通るための勉強になってしまうと思う。 <p>私としては、立派な履歴書は作れたが実際はパソコンがあまりできないと言われると、採用に結びつくのだろうかという疑問に思った。</p> <p>また、就職支援セミナーは託児が無いので、10時から12時という時間を考えると子どもを保育園に預けて仕事をしている方か、または仕事をしていない方はどこかに預ける方か、子どもが小学校に行っている方が対象なのかと思う、ターゲットが狭いと思っ</p>

<p>座長</p>	<p>た。再就職を希望する2、3歳の子どもを持つお母さん方にとっては、かなり参加しづらい内容だと思った。</p> <p>それ以外は内容は素晴らしく、年々パワーアップしていてすごいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履歴書などパソコンも4回では表やグラフ作成の習得は難しいと思う。採用されれば良いということだけではなく、その後のことを考えると難しい。 <p>就職支援セミナーも託児なしと書いてあるので、小学生または保育園や幼稚園に通っている子どものお母さんが対象だと思う。根岸委員は小さいお子さんがいらっしゃるので、正直なご意見だと思う。</p> <p>他に意見はあるか。市から意見はないか。</p>
<p>春田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男性料理講座だが、男性が対象なので豪快なものが良いと思う。魚を捌くのも豪快なので、例えば大きな肉を調理するアウトドアクッキングを室内で行ったりするのも良いと思う。 <p>また、行田市では古代米カレーを提供している店もあるので、そういうものを作るのも面白いと思う。</p>
<p>吉田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて会議に出席したが、いろいろな講座があると勉強させていただいた。先ほど男性も参加して欲しいとのことだったが、このような講座は結果的に育児に繋がるものであると認識している。例えば、デコ巻き寿司は、家に帰ってから子どもがお父さんに作って欲しいと呼びかけをすれば、結果として家で男性が作ってみるといったように、週1回でも作ってくれると妻は助かると思う。このような講座を増やして、家でお父さんに包丁を持ってもらうような働きかけがあれば、育児の負担が少なくなると思う。 <p>また、人事課という立場で考えると、第一子の子育てを機に退職する方が多いと思うので、パソコン講座のように再就職に結びつける講座をやると良いと思う。例えば、保育園や学童に預けやす</p>

<p>座長</p>	<p>い環境を作るという意味では、逆に学童の支援員は不足しているといった現状があるので、研修で支援員の資格を取得できるような講座をやると更に良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしいご意見だと思う。学童には預ける方も多いと思うので、保育士は免許が必要だが、学童を見守る方たちの研修ができると良いと思った。 <p>他に意見はあるか。県から意見はないか。</p>
<p>鹿山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加させていただき、いろいろな講座を企画して良いと思った。私も共働きで、今は専業主婦家庭よりも共働き家庭の方が増えているので、やはり男性の育児参加が重要だと思っている。昔から凝り固まった意識の男性は難しいと思うが、若いパパや男性でも子どものうちから料理講座に参加することは、すごく大事なことだと思った。
<p>丸山委員 (高橋委員代理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり行動計画ありきで今後は進められると思うが、その中で、終活セミナーは加須市と羽生市が実践された講師で予定していると思うので、乖離ない形の内容が良いと思う。 <p>県の女性キャリアセンターもいろいろなセミナーをやっているが、講師を選定するのも大変苦労するので、皆さんの意見を基に実行するのが良いと思う。</p> <p>また、私共のウーマノミクス課でも、企業側に向けた支援や再就職される方の支援など、女性が輝いて働けるような施策をいろいろ行っている。県のホームページを見ていただくと分かると思うが、育児と両立するために働ける環境づくりや、働きやすい環境を整えるために多様な働き方実践企業認定制度を実施して企業に対して啓蒙活動を行っている。是非、市町村や皆さまには相互で官民一体となって今後進めていただけると有難いと思う。</p>
<p>長島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めて参加していろいろな講座があると知った。私の職場に

座長	<p>も育児休業中や時短勤務で働いている者がいるが、大学の中でも働きやすいようにいろいろ考える必要があると思う。残念ながら過去には育児と仕事の両立が厳しく、子育てを優先させたいと離職した者もいるので、この会議にて多方面からいろいろな情報を共有し、働きやすい環境になるよう努力したいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな幅広い意見、有難いと思う。 <p>吉田委員、終活セミナーに関してはこれでよろしいか。</p>
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・終活セミナーについては良いと思う。 <p>個人的な話だが、現在、母親が動けない状態で妻が介護しているため働けなくなってしまった。育児と介護、そのあたりも考えた方が良いと思った。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・介護という問題も考えなくてはならない重要なポイントだと思うので、終活セミナーをはじめ幅広い年代の方たちにこれからの生き方を導く講座を企画していただけたら良いと思う。
染谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・このような素晴らしい企画が沢山あり、どのように組み立てられたのかが今回参加して初めて分かった。話をいろいろ聞いている中で、この後会社に戻って何が出来るのかを考えた。 <p>私共の仕事はお客さまを迎える仕事なので、かなりの人が出入りする場所である。このように素晴らしい講座を広げられる場になれば良いと思い、周知といった部分でできるだけ協力させていただきたいと感じた。また、ブログもやっているので今後の講座を紹介していきたいと思った。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ダイナムは優秀な取り組みをしているということで、VIVA より表彰された企業である。人が集まる所なので、講座をブログなどで発信していただくようお願いしたい。

事務局	<p>・その他として、資料に同封したものと本日配布したチラシをご覧いただきたい。</p> <p>初めに埼玉県産業労働部ウーマノミクス課より2つのイベントの案内があったのでお知らせする。</p> <p>1つ目として「彩（s a i）カフェ i n S A I T A M A」が、県内企業等で勤務する方を対象に女性活躍推進のための講演・交流会を9月から来年2月にかけて計8回、午後1時半から4時に各会場で開催される。様々な立場の方との意見交換ができる交流の場なので、是非、足を運んでいただきたいと思う。</p> <p>2つ目に県内企業等で勤務する女性管理職等を対象に「女性管理職等向け研修会」が開催される。第1回は9月5日、12日、19日、第2回は11月28日、12月5日と12日でいずれも平日木曜日で全3日間、午前9時半から午後4時半に大宮ソニックシティで開催されるので、特に賛同企業の委員の皆さまには、是非この機会に女性管理職のスキルアップとして活用いただくよう、社員の方々へ周知をお願いしたい。</p> <p>最後に内閣府より案内があったのでお知らせする。政府では生産性の向上、ワーク・ライフ・バランスの推進、優秀な人材の確保等に資する柔軟な働き方として「テレワーク」の普及促進を進めており、今年度は2020年東京オリンピックの開会式の本番テストとして大会開催日程を想定し、7月22日から9月6日の間「テレワーク・デイズ2019」を実施する。テレワークが多様で柔軟な働き方の実現に寄与し、女性活躍の観点からも大きな意義を有していることも踏まえ、テレワークの普及促進・活用、周知等にご協力いただくようお願いする。</p> <p>また、女性活躍推進事業のセミナーは無料である。先ほど委員の皆さまからご意見いただいたが、良い企画とおっしゃっていただいたので、一人でも多くご参加いただきたいと思っている。この</p>
-----	--

座長	<p>ネットワーク会議は資料 2 にあるとおり、皆さまのネットワークを活かして周知していただきたいと考えている。資料以外にチラシを用意してあるので、是非お持ち帰りいただき、特に賛同企業の各委員には社員等に周知いただきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他について、ご意見あるか。 <p>それでは、本日の議事は全て終了した。これをもって議長の任を解かせていただく。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は長時間に亘っての貴重なご意見、有難く思っている。 <p>次回のネットワーク会議については、調整後、追って開催通知並びに会議資料をお送りするので、よろしく願いしたい。</p> <p>では、以上で閉会とする。</p>